



# ひばり

若松小学校・府中第二小学校  
特別支援教室「ひばり」教室便り

令和5年3月5日 No.11  
府中市立若松小学校  
拠点校校長 小林 力

1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」と言われるように、あっという間の3学期で、今年度のひばりの指導も残りわずかとなりました。感染予防に配慮しながら、1年間の集大成として、成長したことや課題を振り返ったり、グループ全員で『協力』する学習に取り組んだりしています。来年度に向けて、子供たちの成長や今後の目標をしっかりとまとめ、4月からよいスタートが切れるように指導をしていきます。

今年度も子供たちが安心して通えるように支えてくださった保護者の皆様、各学校の先生方に、心より感謝申し上げます。来年度も子供たちの成長のために、さらに連携を深めた支援・指導を心がけてまいります。今後とも「特別支援教室 ひばり」へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

## 3月の学習予定



低・中学年グループ		高学年グループ	
小集団学習	☑ひばり・ザ・ミッション ☑1年間のまとめ	小集団学習	☑ひばり・ザ・ミッション超 ☑1年間のまとめ
個別学習	個に応じた課題	個別学習	個に応じた課題

## 3月の行事予定

- ◆ ~10日(金) 指導終了
- ◆ 13日(月) 月曜日グループ振替指導
- ◆ 15日(水)~17日(金)、20日(月)、22日(水) ひばり個人面談期間

※来年度の保護者会や指導開始日につきましては、後日別紙にてお知らせいたします。

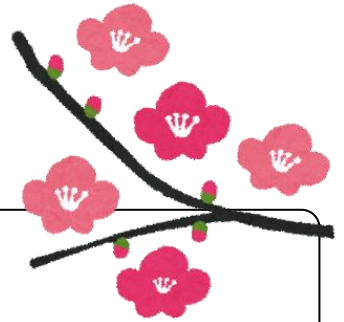
### 3学期の個人面談について

先日「個人面談のお知らせ」を配布させていただきました。

年度当初の3学期の面談は希望制とお知らせしましたが、次年度に向けての指導の方向性などを全員の保護者と直接お話したいと考えたため、基本的には全員に面談をさせていただきます。詳細につきましては以前お配りした別紙をご覧ください。

場所： 若松小学校（校門入ってすぐの職員玄関よりお入りください。）

## 2月の学習の様子から



### 低・中学年グループ

#### ○こんなときどうする？～自分の知らないことを聞かれたとき～

今回の「こんなときどうする？」では、自分の知らないことを聞かれたときにどうするかを考えました。ひばり劇場（教師による寸劇）で、「分からないから黙り込んでしまう場面」と「分からないけれどいい加減に答えてしまう場面」を子供たちに見せました。すると、どちらも「相手が困ってしまう。」という意見が出ました。もし自分が聞かれた側だったらどうするかを考え、実際にひばり劇場で演じてみました。知らないことを聞かれて「ごめん、分からない。」と正直に伝える子や、「僕も分からないから一緒に先生に聞きに行こう。」と友達を誘って確認する子などがいて、それぞれが“自分も相手も困らないようにするにはどう伝えたらよいか”対応の仕方を学ぶことができました。

### 高学年グループ

#### ○ひばり・ザ・ミッション<sup>スーパー</sup>超

高学年グループでは、グループ全員で相談・協力しながらミッションに挑む『ひばり・ザ・ミッション超』に取り組みました。低・中学年で行うものより難しいミッションなだけに、相談や協力がより重要となりました。みんなで集まって相談しているときに1人だけ別のことをしていたり、作戦を伝えたつもりになっていても誰も理解していなかったりするなど、最初のミッションで行き詰まるグループもありました。「このミッションで自分にできる協力は何か？」をその都度考えていくと、同じ失敗を繰り返さないように全員に分かりやすい言い方で伝え直したり、相談に参加することが難しい子に優しく声をかけたりするなど、次第に「協力」を意識してできることが増えてきました。相談の段階で苦労しながらも、全員が納得したやり方でミッションをクリアできたときは、顔を見合わせて「よっしゃー！」と歓声を上げるなど、全員が達成感を味わうことができました。

### 特別支援教室に関する確認書について

来年度の特別支援教室の利用について、在籍校より確認書が配布されます。確認書は記入後、学級担任に提出してください。

